

望郷みかわ



第38号



こころ旅

第三十八期活動報告



会長 大瀧 実
(成田新田)

故郷を遠く離れて暮らす私たち(タビノヒト)には、故郷は心の支えであり、故郷での思い出は大事な宝物です。

そんな懐かしい故郷の風景や思い出を紹介してくれる番組に、俳優の火野正平さんが自転車で日本中をめぐる、NHK「つぼん縦断 こころ旅」があります。その「こころ旅」の担当者から、三川町観光協会を通して当会に、「2023 春の旅」で放送するお便り募集の案内が届きました。

山形県内では4本の番組を制作し、7月24日〜7月28日に放送予定とのことです。募集締切は6月5日ですが、各都道府県の放送日の2ヶ月半前までに送ると取り上げられる確率がアップする(?)とのことでした。

番組放送が開始された2011年からこれまで、山形県では21本の番組が制作され、そのうち庄内では、

9本が作成されています。ただ三川町を題材とした番組は制作されておらず、今回は取り上げられる可能性が高いのではと期待しています。

この機会に、会員の皆さんの「こころに残る風景」を応募してみてもいいですか。

「応募方法については、NHKのHPをご覧ください」

会員の皆さん、故郷三川町の皆さん、ご健勝でお過ごしのこととお喜び申し上げます。また、日頃より望郷みかわ会の活動にご支援ご協力を賜り感謝を申し上げます。

昨年は、2020年2月から続くコロナ禍3年目の年でしたが、感染防止対策が緩和され大人数での集会が可能となり、3年振りに総会・懇親会や交流会を開催することが出来ました。

第38回総会・懇親会の開催は、コロナの感染状況をみながらの判断となり、当初予定していた6月25日を10月15日に延期し、東京都港区芝の東京グランドホテルで開催しました。出席者は59名。会員36名のほか阿部町長、佐藤町議会議長はじめ町

関係者8名、友好団体関係として石澤山形県人東京連合会会長のほか15名の方に参加いただきました。

総会では、阿部町長より「ふるさと交流促進事業費補助金」の目録が授与され、その後の議事で「37期活動報告・会計決算報告」「38期活動計画・予算案」が全て承認されました。

続く懇親会では、産業振興課主事佐藤さんの説明つきで、三本木出身の遠渡祐樹さんが飛行隊長を務める航空自衛隊の「ブルーインパルス」の庄内地方での展示飛行のビデオが放映され、次に三川町観光協会の澤田さん、ANAのブルーアンバサダーで三川町の観光大使「菜の花むすめ」の九鬼江実さんにより地元産品の紹介や地元の商品が紹介されました。このプレゼンで会場は故郷の話で盛りあがり、楽しい懇親会となりました。

その後の抽選会では、当選者に地元産の果物や日本酒、つや姫等が景品として贈られました。また会場に設置された「地元物産品販売コーナー」では笹巻、とち餅、しそ巻きなど懐かしい地元のお味が販売され、いずれも皆さんに好評で、一部の販売品はすぐに

売り切れとなる状況でした。

今回はコロナ対策として、受付での検温確認、演台と司会者席にアクリル板を設置、テーブル着席人数の制限を行ないました。また懇親会の内容も、会場での出席者の移動を少なくするため、全員での集合写真撮影と三川音頭を中止とし、壇上での「故郷」合唱も独唱に変更して行ないました。

また、年度途中よりの物価高騰は、総会・懇親会の設営に大きく影響しました。現状の内容のままでは、今後ホテルでの総会・懇親会開催は難しくなると想定されます。会場の変更や懇親会の内容について再検討する時期にきてるかもしれません。

なお、今回の総会・懇親会開催にあたっては、三川町、三川町観光協会、JA庄内たがわ、出羽商工会に多大なご支援を賜りました。この場をお借りし感謝を申し上げます。

総会・懇親会のほか今年度の事業としては、令和4年4月に会報「望郷みかわ第37号」を発行、令和5年2月に「会員交流会」を実施しました。最後になりましたが、皆様のご健康とご活躍をお祈りいたします。

「ポストコロナに向けて」



三川町 町長
阿部 誠

今年は、例年に比べて雪解けが早く進み、新緑が一段と色鮮やかさを増して春の訪れを感じる季節となりました。

望郷みかわ会会員の皆さまにおかれましては、益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。また、本町に対して特段のご支援、ご協力をいただいていることに深く感謝を申し上げます。

昨年10月には、3年ぶりの開催となった望郷みかわ会総会にお招きいただき、久しぶりに会員の皆さまと再会することができました。本町としても、直近の町の出来事を紹介する企画を用意し、皆さまのふるさと・三川町に思いを馳せる時間として楽しんでいただけたのではないかと思います。

さて、私事になりますが、今年1月に執行された町長選挙におきまして、再度、町政執行の重責を担わ

せていただくことになりました。

これまでの町政運営に対する町民の皆さまのご理解に感謝を申し上げますとともに、会員の皆さまからも、引き続きご指導ご鞭撻をよろしくお願い申し上げます。

ポストコロナの昨今は、行動制限がなくなつたこともあり、停滞する地域経済の活性化に特に力を入れて取り組む必要があると考えています。

特に、今年度はコロナ禍となつて以降中止していた春の恒例イベント・菜の花まつりを4年振りに開催するほか、青山地内の赤川河川緑地広場に整備した「パルク赤川」のオープンイベントを企画しています。町民の方々をはじめ、町外の方々からも本町に足を運んでいただけるような事業を積極的に展開し、停滞していた人流・交流のさらなる拡大を目指してまいります。

また、会員の皆さまの中にはここ数年、本町への帰省ができていない方も多いことと思います。引き続き感染予防対策に気をつけながら、大型連休やお盆等の機会にはふるさ

と・三川町に足をお運びいただき、親族や旧友との再会を通して、本町に賑わいが戻ってくることを期待しています。

結びに、皆さまのご健康とご多幸をお祈り申し上げ、ご挨拶いたします。

「さらなる飛躍に向けて」



三川町議会議長
志田 徳久

今年は、小学校・中学校の入学時期に桜の花が咲き、いつもより早い春の訪れを迎えています。望郷みかわ会会員の皆さまにおかれましては、益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

私こと二月二十七日付けをもって三川町議会議長に就任いたしました。責任の重さを痛感するとともに、住民福祉向上のため専心努力してまいりる所存でありますのでどうか宜しくお願いいたします。

ようやく、新型コロナウイルス感染症に係る規制が大幅に緩和され、会員

の皆さまには、ふる里「みかわ」に來町され、ぜひ現在の風景を楽しんで欲しいと思います。

さて、全国的な課題ではありますが、本町も自然動態の影響等による少子高齢化が進んでいます。特に、基幹産業である農業を取り巻く環境の厳しさから、担い手が少なくなつてきており農村集落の形態が変わりつつあります。

このような中、本町では化学肥料・農薬の使用を通常の半分以下に抑えた特別栽培米や無農薬の有機米の栽培に力を入れており、これらの栽培面積が水田全体の半分程度になっています。自然環境にやさしく安全で美味しいお米の消費拡大を目指していますので、皆さまにも食して頂ければ幸いです。

今年度は、町民の健康促進の確保を図るため「なの花温泉田田」、さらには屋内運動施設「アスレなの花」の大規模改修を行うとともに、新たな交流の場となる親水区間「パルク赤川」が全面供用開始され、秋には「芋煮会」もできます。

子育て関係では、中学生までとした医療費の無償化を十八歳までに拡大します。

また、本町では、保育園・幼稚園の待機児童はいませんが、社会情勢等の変化により年々増加する学童保育所の利用者のため、現在行っている子育て交流施設「テオトル」での受け入れに加え、押切小学校においても受け入れのための学童保育所を開所し、子育て環境の充実を図っています。

今後、会員の皆さまより町づくりにお力添えを頂ければと思いますので、ご一報下さればありがたいです。

結びに、皆さまが健康に留意され、ますますの活躍されることを御祈念し挨拶いたします。

ふるさとだより



三川町役場 建設環境課長
加藤 善幸（押切中町）

望郷みかわ会の皆さま、はじめまして。私は令和三年四月に建設環境課長を拝命いたしました、加藤善幸と申します。よろしくお願いいたします。

建設環境課が担当しております「三川町かわまちづくり計画」について寄稿させていただきます。

本町の中央を流れる赤川は、地域住民の飲料水や農業用水の供給源であると同時に、舟運がもたらした歴史・文化・風土は、私たちの暮らしの中に深く根付き、現在においても継承されており。

本町では、この豊かな水と緑に囲まれた河川空間を生かすため「三川町かわまちづくり計画」を策定し、国の支援を受けて憩いと賑わい、交流の場としての施設整備を行ってまいりました。

この計画では、田田大橋周辺（青山地内）に6・6haの広さをもつ赤川河川緑地ふれあい広場（愛称：パルク赤川）と、田田大橋から東郷小学校までの堤防の八重桜百本による「桜つつみ」を整備し、今年四月に施設全体の供用を開始いたします。

このパルク赤川には、芋煮会やバーベキューが楽しめるかまど十二基を備える「交流エリア」があり、グループや家族連れが楽しいひと時を過ごすことができる空間となっています。また、芝・土のグラウンドや広い駐車場、さらに、せせらぎ水路や噴水のある「親水エリア」など、幅広い年代の方々

青空のもとでのびのびと体を動かし楽しむこともできます。

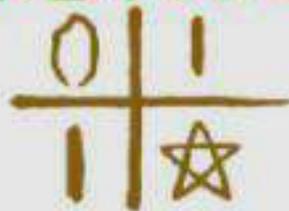
会員の皆さまにおかれましても、三川町にお越しの際は、ぜひ、パルク赤川にお立ち寄りいただき、赤川とともに月山・鳥海山など三川ならではの風景をお楽しみいただければ幸いです。

結びに、望郷みかわ会の益々のご発展と会員の皆さまのご活躍、ご健勝をご祈念いたします。



パルク赤川

庄内平野の将来を本気で考えています。



株式会社まいすたあ

庄内地域一円の
農地を受託いたします。

〒997-1311
三川町大字青山字外川原192-1
☎ 0235-66-5138
<http://www.mistar.co.jp>



故郷を離れて五十年

齋藤 澤子

猪子出身

私は、十八歳まで三川町の猪子に住んでおりました。高校を卒業してから今現在もずっと東京で暮らしておりませんが、コロナ前までは毎年必ず帰省しておりました。

しかしその実家も、昨年のゴールデンウィーク明けに解体してしまつたのです。長年、人が住まない家は色々な箇所がどんどん老朽化してしまい、今後の事が懸念されました。両親が他界して一五年以上経つてからの悩んだ末の決断でした。解体日の前日まで荷物の整理に追われ、要る、要らない物の仕分けはかなり大変なものでした。

昔の写真が沢山出てきました。どれも懐かしい写真ばかりで色々な事が思い出されました。

小学生の頃の思い出になります。春の楽しみは猪子のお祭りでした。東郷小学校では各部落(今は地区と呼ぶ?)のお祭りがあつた。その部落に住んでいる生徒は早上がり(早引き)が出来きたので、時間になると即行で帰宅し、出店が出ている琴平神社へ母と一緒に向かうのです。今でもお祭りの為の学校の早上がりは続いているのでしょうか？

夏はなんと言っても赤川で泳ぐ事でした。夏休みになると赤川沿いの堤防に旗が立っていて、白旗なら遊泳可、赤旗なら遊泳不可でした。毎日その旗を確認しに行くのがとても楽しみで「今日は白旗だー、泳がいます」と、家に帰って喜び叫んでいました。しかし、私が小学四年生の時に東郷小にもやっとプールが完成し、それ以降赤川での遊泳は禁止となりました。

それから部落海水浴と言う行事があつて、夏休みに猪子のみんなが

浜中の海へ泳ぎに行った思い出もあります。

そして秋！もちろん芋煮会です。うちでは家族大勢で、猪子から自転車を漕ぎ、成田新田経由で西山へキノコ採りを兼ねてよく行ったものです。今では山形県の芋煮は全国的に有名になりましたね。最近、私もランニング仲間と一緒に庄内の芋煮会を楽しみました。具材の厚揚げとこんにやくは、庄内から取り寄せたのでとても美味しかったです。

地球温暖化によるここ数十年の気候変動の影響で、真冬でもそれほど雪は積もらなくなつたようです。が、私の子供頃の冬はいつも大雪で、



1960年頃の冬景色

猛吹雪の時は学校が度々一斉退校なつたり、下級生を手で囲いながらの登下校をしたりと、とても厳しかった冬を思い出します。今で言うホワイトアウトの連続でした(笑)。

今はもう猪子に家はありませんが、これからも時々帰省したいと思つております。学生時代を過ごした三川町はいつまでも忘れません。そして「望郷みかわ会」は故郷を思い出させてくれる楽しみの会のひとつです。これからも宜しくお願い致します。

丸喜製麺所

〒997-1316 山形県東田川郡三川町猪子甲36
TEL:0235-66-3039 FAX:0235-66-4839

39絵(サンキューかい)のこと

梅津隼士

横川出身

昭和三十九年に三川中学校に入
学した首都圏に住む同期生による

「39絵」という集まりがある。記憶
をたどると、平成十一年の秋に東京
都内の会場で同窓会を開く計画が
持ち上がった。その準備などで首都
圏にいる同期の面々が集まったの
がきっかけかも知れない。同窓会に
は首都圏だけでなく地元の庄内や
仙台など各地から大勢かけつけ、懐
かしく賑やかな集まりになった。

それ以来、毎年一度は桜や紅葉の
時期に都内や横浜などの公園、庭園、
名所などを散策したり、持ち寄りの
弁当などで季節の移り変わりを楽
しんでいる。毎回十数人が参加し、
その都度次回の幹事を決めて続け
てきている。39絵の「絵」はワー
プロの変換ミスではなく、多様ない
ろどりのある集まりという意味を
込めたものである。お互いの近況を
確認する良い機会にもなっている。

平成二十三年に、恒例の還暦の集
いが湯野浜温泉の満光園で開かれ
た際には、首都圏からも多数参加し
た。一泊の翌朝、白で餅をついたこ
とが懐かしく思いだされる。(ホテ
ル満光園はコロナで閉館と聞き、寂
しい気がしている。)

その時、七十歳の古希までの間に
六十五歳の集まりをやるうという
話を持ち上がり、今度は首都圏の
39絵のメンバーが企画、準備にあ
たった。平成二十八年の秋に、庄内
と東京の中間地点ともいえる福島
県いわき市のスパリゾート・ハワイ
アンズで開催された。スパリゾート
は私を含めて初めての人も多く、天
気にも恵まれとても良い同窓会に
なった。庄内や首都圏などから合わ
せて約五十名が参加したように思
う。プロによるフラダンスやタヒチ
アンショーは、ステージの間近で見
るととても迫力があつた。聞けば、
常磐炭鉱の閉山により地元の産業
や仕事が失われることから、炭鉱会
社が従業員の雇用と観光の目玉に
と始めたプロジェクトとの事だつ
た。映画「フラガール」にも出てく

るが、超一級のフラダンスの指導者
を招き、それまで炭鉱会社の事務や
現場で働いていたスタッフが懸命
に練習してショーを磨き上げたも
のという。

その後も、毎年春の花見などを、
新宿御苑、上野公園、井の頭公園な
ど場所を変えて楽しんできている。
また、みかわ会が開催する納豆汁の
会などにも39絵のメンバーは大
勢参加している。三川町が協賛した
神奈川県藤沢市での物産展でも、近
くに住むメンバーがお手伝いする
こともあつた。

スパリゾートでの六十五歳の集
まりの時に、次は東京オリ・パラの
観戦を兼ねて古希の集いを東京で
やるうという話も出たが、残念なが
らコロナで実現しなかった。地元の
田田の宿を会場に計画された古希
の集いも、やはり中止となった。
恒例の花見は2019年の上野
公園を最後に中断しているが、昨年
秋の望郷みかわ会の再開をきっか
けに、今年こそ39絵の集まり、散
策を賑やかに楽しみたいものであ
る。



スパリゾート・ハワイアンズ

希望の持てる農業へ 今新しい時代が来る。

頑固一徹 庄内三川 米工房

有機農業 安心・安全 げんろく米

米工房 源六 代表 菅原 誠

〒997-1321
山形県東田川郡三川町大字押切新田字対馬61番地
電話 0235-66-2742 ファックス 0235-66-4347
mail sugawara-ko@mountain.co.np.jp
http://gonrokumai.sakura.nc.jp/index.html

赤川の想い出

鈴木和子(佐藤)

横山中出身

私達の子供の頃は赤川はとても清らかな水で砂浜があり夏休みに入ると、よく土手を下りて畑を見ながら石畳の方に歩いて行きその上を「熱い熱い」と言いながら草履(ぞうり)を手に持って飛び跳ねながら砂浜の方に走って行きました。

友達と川遊びをします。

スカートとパンツのゴムの所に挟んでブルマーにし、水の中に手を入れジャンケン遊びや手ぬぐいの両端を二人で持って足の近くを泳いでいる魚を捕まえようとしますがなかなか手ぬぐいの中には入ってくれません。小さい魚なのでとてもすばしっこかったのです。足が冷えると石浜に座って足を乾かし、帰りは砂浜を歩き回って小枝を拾い集め手ぬぐいで縛って家に持ち帰りかまど脇に置きます。母がマキに火をつける時に小枝は

役にたったのです。母がマキで作ってくれるおかずはとても美味しかったです。私の家ではマキは大事な主役になっていました。

中学二年生になると夏休み前、

由良に臨海学校として二泊三日の楽しい行事がありました。

三川中学四期生の私達の頃はもちろんプールなどありません。それでも水泳教室がありました、教室で水着に着替えて女子は肩にバスタオルを掛け並んで外に出て、学校の前の国道7号線を渡り土手を下りて畑を横目に見ながら赤川に向かうのです。(あの頃は国道をあまり車は通りませんでした。)

川場に着くと砂浜の所で準備体操をして川に入ります。泳ぐ練習をするのですが、私は水の中に顔を付ける事も出来ません。勿論、浮く事も出来ませんでした！何もしないで立っていると先生に見つかってしまいうので、友達の後ろにくっついて手だけ動かしていました。

青い空の下で赤川のせせらぎを聴きながら水泳教室を行なった思い出はとても懐かしく一人で微笑

んでしまいます。

流れも清い赤川の
絶えざる調べ聞きながら

十数年前、田舎に帰った時に赤川の川を見に行きました。(横山付近)でも川縁までは行きませんでした。砂浜の上に木々が伸びていて子ども頃の赤川ではありませんでした。風景がすっかり変わってしまったのです。とても残念な気持ちになってしまいました。

自然が変わったのか？
人間が変わってしまったのか？

鳥海山と山々に囲まれ、庄内平野の真中でのんびりと心豊かに育った十五年間は何と豊かな日々だったでしょう。

今は、父も母も兄もいなくなった古里は「遠きにありて思うもの」になってきました。



6回生の皆さん

お元気ですか？

飯野美知夫

横山上出身

私が望郷みかわ会のことを知ったのは今から5年前の平成30年です。湯野浜温泉で開かれた同窓会で、クラスメートに望郷みかわ会があるから遊びに来ないかと誘われたのがきっかけです。それまで三川町出身の人達で作っている「望郷みかわ会」という会があるとは知りませんでした。還暦も過ぎ故郷への郷愁もあり、東京都港区芝で開催された第三十四回総会・懇親会に参加することにしました。

左の写真は、その時の総会の様子を紹介した庄内日報の記事(上段)と、参加した6回生の集合写真です。



この総会の後、役員の方に活動に協力して欲しいといわれ理事になったのですが、総会の時に思った同郷の輪を広げたいという思いを少しでも実現出来るかなと思ったのが大きな理由でした。

理事になり、当会の総会・懇親会や交流会の他にも、庄内ふるさと会主催の「納涼だちや豆」や山形県人東京連合会の「総会・県人まつり」に参加し、同郷の皆さんと交流を深めています。

下の写真は、今年一月に行われた山形県人東京連合会主催の新春賀詞交歓会に出席した時のものです。宴が進むと、山形出身の歌手の歌有り、演舞有りで大変盛り上がりました。美味しい料理や西川町から差し入れされたクラフトビールや日本酒を頂きながら、沢山の方々と名刺交換して有意義な一日を楽しみました。6回生の皆さん。今年の総会でミニ同期会をぜひ実現しましょう。



筆者 佐藤副会長 大瀧会長

「故郷」

大瀧 一輔

横山下出身

三年前、突然地球上に降って湧いたコロナウイルスに世界中が侵された大勢の人々が亡くなりました。

経済は停滞し医療現場は混乱したままです。私の務めている横浜でも係毎、部毎、フロア毎と職場が閉鎖されました。スマホで山形新聞の毎日のふるさと三川の感染者増加の報道を心配しながら観ていた時、三川病院でクラスター発生の記事を目にし、三川病院に務めて居る従兄弟に電話で病院の現状を聞いて心を痛めて居りました。

三年前、日本で初めてクラスターが発生した客船「ダンヤモンドプリンセス」横浜港に接岸され大勢の感染者が病院へ搬送されました。

自分の務める会社で建造した客船がこんな形で報道される事を複雑な気持ちで観ていました。

又、世界中がコロナウイルスに侵されている中、突然ロシアがウクラ

イナに軍事侵攻しました。この侵略戦争でもまた大勢の一般人が亡くなっています。日本でもエネルギー、ガソリン、ありとあらゆる物価の高騰という形で家庭の中にまで影響しています。一日も早くコロナ感染の終息と侵略戦争の終結を願わずには居られません。

又、こんな中でも心温まる事がありません。中学の同級生とのグループラインは楽しいかぎりです。庄内浜の夕陽の素晴らしさ、雪を頂く月山、鳥海山、町の行事、趣味や晩御飯まで、毎日の様に届けてくれる色々な情報を楽しく拝見しています。

帰郷の折に会う同級生は、若い頃の思い出話を語る中でみるみる懐かしい友の顔が変わっていきまます。容姿は変わっても互いに「昔のまま、いつまでも変わらねえなあ」と昔話に花が咲きついつい杯が重なります。旧友達とはいっまでも健康で長生き競争をしたいと思いません。

昨年、母が百寿を迎えました。町長の阿部誠さんが家に来られお祝いを言っ頂き、その上賞状まで

医療法人社団愛陽会 三川病院

- 介護付有料老人ホーム こでらの樹
- 愛陽会相談支援事業所
- 多機能型事業所じょんじゅ(就労移行支援・就労継続支援B型)
- 指定共同生活援助ハイツ平島
- 愛陽会居宅介護支援事業所

山形県東田川郡三川町大字横山字堤39番地 TEL 0235-68-0150

ホームページ <http://www.aiyoukai-mikawahp.com/>

頂いたと喜んで話してくれました。長姉の支えもあり、杖代わりに手押し車を器用に使い、メガネを掛ける事も無く新聞を読む母の姿を見るにつけ、長く母の世話をしてきた長姉夫婦には感謝しかありません。

毎年送られて来る庄内の丸もち、庄内浜で採れた磯海苔で食べる正月の雑煮、次姉から届けられる魚の佃煮、竹の子、いちぢく、栗の甘露煮等一年を通し「ふるさと」の味覚を味わう事が出来ます。

二人の子供も独立し、三人の孫も出来いよいよ私も一人前の「じじい」の仲間入りです。

昨年からは以前務めていた頃から付合いの有った会社から誘われ再度就職もしました。無理を言っても以前と同じ職場で働ける事はありがたい事だと思います。

同級生のグループライン「三糸の会」の皆さん、「望郷みかわ」の会員の皆さん、これからも宜しくお願い致します。

今思うことは「故郷」と言うのは、自分が幼い頃から体験した全ての事であったと思うのです。

若かりし頃の思い出 (兄貴と赤川新川での魚釣り)

成澤 次郎
押切中町出身

昭和32〜33年(1957〜1958年)頃の押切小学校5・6年生頃の十月の思い出であります。

私は兄貴に似て魚釣りが大好きでした。家近くの池でも毎日のように釣りをしていました。ある日、『もつと大物を釣ってみたい!』と兄貴にせがみ「赤川新川」に遠出できることになり日曜日に行くことになりました。出発当日の朝早起きして、前日に捕まえた沢山のミミズと母さんに作って戴いた握り飯弁当を背負って喜び勇んでスタートしました。勿論、長い竿を担いでのテクシーである。今、考えると危険極まりないが:当時、車は少なくリヤカーが通る程度で問題ありませんでした。

赤川の下り右側堤防を歩き、山の神社とく広野く黒森を経由し約2時間半位歩いたろうか? ようやく

赤川新川に到着である。

間髪入れずに釣りのスタートである。釣り針には『大物よ食え!』とばかりに3匹のミミズを同時に刺し終えた。しかし、初めての釣り場であり、ミミズを何処に垂らして良いか判らないままに岩ブロックに囲まれた淀みで如何にも大物が居そうな深場に、震える手で静かに釣り糸を垂らし、釣竿が引き抜かれないよう釣竿のエンドを大きな石に固定した。兄貴は、少し離れた同じ様な淀みで釣りを初めている。暫く待つも:当たりが無い! たまに当たりがあっても10cm弱の鮒が釣れるばかりである。狙っているのは1・5尺(50cm)以上の真鯉あるいはセイゴである。お腹も空いてきたので握り飯にかぶりついた。と その時、置き竿がグイグイと弓なりに曲がるではないか! 握り飯を頬張りながら、引き込まれそうになった竿を何とか立掛けた。しかし、グイグイと強烈な引きは変わらなく興奮した。魚は何者なのか姿を現さない! 兄貴も手伝おうと側に来るもそのすが無い!

みのり
豊かな農
くらし
豊かな生活
つち
豊かな大地の
実現を目指します

これからも...ずっと...

〒997-1301
山形県東田川郡三川町大字横山字袖東18番地2
TEL:0235-66-2323 FAX:0235-66-4015

三川支所

あまり、強引に引つ張ると糸切れや竿折れもあるから無理も出来ない。15分位の格闘の末に何とか兄貴に陸揚げしてもらった。真鯉であった！50cm以上の大物でした！持参のタモには大き過ぎて入らず、縄紐を鯉の口から入れ鰓から出して近くの川原石に縛り付けキープすることが出来ました。因みに、こんな大物を想定し、釣り糸と釣り針は家の近くの葉さんから購入し、釣竿は近所の竹藪から根こそぎ抜いて1年以上もの屋内乾燥をして手作りした上等(?)な仕掛けでした。比較的近い場所で、数名のおじさん達が釣りをやっていました。見ると、立派な長く太い継ぎ竿に大きなリールを取付けた大物狙いの人達でした。2〜30m位遠くへの投げ釣りでした。近くのビクには大きなセイゴが数匹入っていました。私達も、太い継ぎ竿やリールがあったらこんなに苦労しなかったろうとつくづく感じました。しかし当時の我が家では、手に入れる事の出来ない高価品でした。

さて、帰り道中ですが、釣った

大きな真鯉は、2本のタオルで包みきれずぶら下げて帰るしかありませんでした。兄貴と苦労しながら代わる代わる持ち、その一方、すれ違いう人々に自慢げに帰ったことでも思い出します。



兄弟仲良く釣りへ

又、家に帰ってさばくのも大変でしたが、上質なタンパク源ともなり満足しました。

釣りは大好きなので現在でも相模川や中津川にたまに出掛けていますが、めっきり減りました。コロナ禍が終息し里帰りした時には、再び兄貴と赤川新川へ釣りに出掛けてみたいと思っております。

現在、各種の竿やリール、様々な釣り道具が沢山あります。そろそろ整理する時期かなと感じております。幸い孫娘が、釣りが好きなので一式譲渡する事を計画している今日この頃です。

「終活」

牧浦 朝美(佐野)

猪子出身

コロナ禍が3年近く続いている中、私も望郷みかわ会の役員を退任して4年が過ぎました。

我が家の孫もこの春から社会人となりました。二十二年間共に暮らした日々が懐かしく思い浮かびます。

若かった頃の私は、よく自転車に孫を乗せて歩いて居りました。今では住宅地となりましたが、その頃はまだ農地だったので大声で童謡を歌っていた事などいろいろ思い出します。

十五年前に運動のつもりで始めた社交ダンス、今も続けています。仲間には米寿越えの方々もおり、毎週元気に顔を出して来られる事が、私には『頑張つて!』と言ってる様で、いつも元気を頂いています。

晩年は楽しみながら、無理をしないで過ごせたら、それだけで幸せな事なんだと思う日々です。

子供たちの笑顔あふれる未来のために
安心・安全のお米をお届けいたします。



有機栽培つや姫(有機JAS認証)
特別栽培つや姫・雪若丸



山形ゆりあふあーむ

代表 齋藤 祐一

〒997-1321
山形県東田川郡三川町大字押切新田字刈取72-1
TEL 0235-66-2493
FAX 0235-33-8623
E-mail randcruiser3778@yabb.ne.jp
URL http://yuriafarm.com



会員からのお便り

令和四年度



阿部 紘子(本間) 上町

望郷みかわ会に久しぶりに参加させて頂きとても楽しかったです。実行委員の皆様ありがとうございます。

阿部 正美 土口

いつもお世話になっております。阿部正美(父)は高齢の為、療養中となり、書類に目を通すことも難しくなりましたので、郵送物ご遠慮致したく、長年お世話になりました。望郷みかわ会の今後の発展をお祈り致しております。(家族代筆)

阿部 よし子(佐藤) 押切中町

役員の皆様ご苦勞様です。35回までは参加しましたが、団地の建て替えの為二〇一八年九月に引越しましたので連絡が遅れました事ごめんなさいね。十月十五日の総会が、元気が無かったので欠席しますが、元気が無かったら参加したいと思っています。宜しくお願いいたします。

有川 重夫(服部) 横山下

いつも連絡有難うございます。皆さんとの再会を楽しみにしております。宜しくお願い致します。

飯野 紀進 横山下

役員の皆様ご苦勞様です。今年はお席出来るかと思つてましたが、まだ心配で欠席します。

今井 とみ子(三浦) 堤野

毎日元気で過ごしています。いろいろな情報ありがとうございます。

上野 利勝 横山中

役員の皆様方いつも御苦勞様です。長引くコロナ、コロナで色々な行事や催し物が延期や中止になつていますが、少しずつコロナが終息に向かっています様で、近いうちに又何かの行事で皆様方とお会い出来る日を楽しみにしています。

江口 きよみ(佐野) 猪子

いつもお世話様です。コロナが収束し、安心して皆様とお会いできる日を楽しみにしています。

榎木 正男 猪子

役員の皆様ご苦勞様です。

大川 敏弥 横山中

令和三年十一月に他界致しまし

た。故人に代わり、生前のご厚誼に深く感謝申し上げます。(代筆)

大平 末子(佐藤) 横山中

皆様お元気ですか！

大類 眞理(阿部) 三本木

この度は望郷みかわ会の会報お送り頂き有難うございました。「会員のひろば」に掲載ありがとうございます。一昨年初めて交流会に参加させて頂き、皆様が温かく迎えてくださったお心に感謝申し上げます。皆さんとお会いしていると何か郷里とつながっている様で元気が出ます。

尾形 馨(杉山) 押切中町

大変お世話になりましたが、今回で退会させて頂きます。第一回より参加して早三十七年、気持ちは若いのですが私もすっかり年寄りになりました。あんな事、こんな事、いろんな事の良い思い出沢山あります。ありがとうございます。みかわ会の益々の発展を心よりお祈りいたします。

小野寺 きよ子(佐藤) 土口

いつもお世話になりありがとうございます。十月にお会い出来る事

楽しみにしております。

金子 京子(石栗) 上町

ご連絡下さり有難うございます。スタッフの皆様ご苦勞様です。コロナの感染者が下がりきらないので開催出来るかどうか判断が難しいと思います。開催出来れば参加したいと考えて居ります。開催するとなると密集回避策といった安全対策が必要となる為、大変なご苦勞と思えますが宜しくお願い致します。

木村 眞理子(佐藤) 青山

役員の皆様いつもご案内等ありがとうございます。会の発展をお祈りいたします。

工藤 佐 成田新田

体調が悪い為会合には出られないのが残念です。いつもご連絡ありがとうございます。

黒田 藤作 横川

傘寿を前にして体調不良の為、退会させて頂きます。永い間ありがとうございました。

小池 克子(佐藤) 猪子

コロナになり皆さんとお会いする事ができなくなり淋しい日々を過しています、唯一の楽しみは友達

との携帯です。早く笑顔で話せる日が来る事を心待ちにしながらコロナの終息を祈っています。足、腰を鍛えながら皆さんもお身体に気を付けて頑張りましょう。

小林 桂子(斎藤) 上町

今年こそ皆さんにお会いして楽しいおしゃべり、お酒をいただけるとよいですね。

今野 竹治 三本木

いつもお手数かけて申し訳ありません。コロナ禍の中でも元気にして居ります。今後とも宜しくお願いいたします。

齋藤 弘 成田新田

皆さん元気に安心して集まれる日が早くきてくれると良いですね。ご苦労さまです。

佐藤 繁和 猪子

コロナ禍の中、特に行事中止続きでの運営ご苦労様です。先日初めて会報發送業務の手伝いに参加させて頂きました、この様な時期、会報作成責任者の須藤副会長のご苦勞に感謝です。コロナが終わり慰勞出来るのを願っております、会員皆々様のご健勝をお祈りいたします。

佐藤 幸雄 猪子

ご案内ありがとうございます。コロナ・インフルエンザ等で大変な時でもあり会への出席は出来ません、盛會をお祈り致します。

塩野 おとめ(菅原) 対馬

押切中学校最後の卒業生です。「ふるさと」って本当にいいですね！子供の頃が懐かしく思い出されます。コロナがなかなか終息してなくて大変ですが、今回交流会に参加します。

志藤 清雄 横山下

幹事の皆様ご苦労様です。体はステイホームに馴染み過ぎて多人数の会合に不安あり欠席しますが、次回は楽しみにして居ります。

白井 千紗子(佐藤) 猪子

役員の皆様いつもありがとうございます。昨身体調を崩しました。少しずつ日常生活が戻ってきておりますが、欠席させて頂きます。楽しい交流会になります様心よりお祈り致します。

菅原 武 三本木

いつも連絡を頂き有難うございます。楽しい望郷みかわ会の会合に

参加すべきところですが、家内の介護により欠席させて頂きます。

鈴木 勝雄 横内

37号会報を楽しく拝読しました。ありがとうございました。2月に3回目のワクチン接種を終えウイズコロナ下慎重に行動しています。横浜・新治市民の森愛護会活動で重い木を持ち上げた際、腰を痛めリハビリで回復しましたが反省多しです。足腰の衰え防止に取り組みんでいます。十月の総会・懇親会を楽しみにして居ります。

鈴木 弘生(大滝) 成田新田

いつも皆様の情報を拝見し楽しんでおります。最近、田舎に帰っておりますので変わつたろうな、と。「望郷みかわ」を見るたびに思い出します。

高田 京子(五十嵐) すみよし

私の孫は令和4年3月に小学校を卒業し、4月には中学生になりました。卒業式も入学式も一生に一度きりの経験をコロナ禍の為に密を避け、在校生も父兄も限られた参加者しかいない中で迎えていました。半世紀にもなる私の当時の式を思

い出して比べると複雑な想いです。田中 輝子(上野) 横山下

コロナ禍で大変だったのではないかと思うと役員さんの気持ちがよくわかります。私も地域で丁度コロナが始まってから役員を引き継ぎ、毎月2回民謡体操やりましたのでその連絡が大変だった気持ちの方が分かります。どうかお身体に気をつけて宜しく願います。今年度はどうしても都合がつかず欠席させて頂きます。

田辺 保夫 すみよし

コロナが収束しマスク無しで皆さんにお会いする事を願っています。

都積 喜美(佐藤) 押切中町

望郷みかわ会様へ、脱会お願い致します。平成十四年六月二十二日(土)、丁度二十年前です。庄内から昭和三十九年卒業生十名の方が上京。望郷みかわ会へ初めて出席後「庄内を偲び、都の夜を楽しむ会」が東京都浅草(隅田川屋形船)で行われました。近郊からと庄内からの方十名の計四十一名が参加しました。皆さん六年前の四十九才厄払い以来の久しぶりの再会。卒業以来初めてお会い

出来た人も。おしゃべりに花が咲き、夜の街に出掛けた人も。望郷みかわ会のお陰様にて楽しく楽しく過ごさず事が出来ました。その後二十年間一度も出席出来なく、大変申し訳なく思っておりますが、年齢も重なり、今回で退会させて頂きます。今まで会報もとても楽しみでした。大変お世話になり有り難う御座いました。世界中の人々が心穏やかな日常が訪れますよう心からお祈り致しております。

角田 三代子(成澤) 押切中町

役員の皆様お世話になりありがとうございます。皆様と再会出来る日をとて楽しみになっています。このままコロナが終息してくれる事を念じております。

寺島 郁子(山科) 横山下

役員の皆様いつも御苦勞様です。コロナウイルスが終息して、又皆様にお会い出来る日を楽しみにしております。

成澤 修 押切中町

長引くコロナ禍の中で悲しいニュースばかりのこの頃、皆さんとお会いして笑顔を取り戻したいです。

成澤 次郎 押切中町

コロナ禍は「まんえん措置」や「緊急事態」は解除されたものの、完全には終息していません。どなた様も十分に気を付けて過ごしましう！一日も早く穏やかに、総会、懇親会や交流会が開催される事を祈念しております。それまで皆様お元気で。

成田 勝治 対馬

今年こそ三年ぶりの総会開催出来ることを祈ってます。そして皆様に会える事を楽しみにしています。

難波 ちる子(菊池) 猪子

ご苦勞様です。前回、望郷みかわ会で皆様にお会いした時は検査中でしたが一週間後には緊急入院となった自分です。七十歳代になると身体も悲鳴を上げる様になる事を感ずるし、コロナ禍に三年も苦しい怖い日々をするとは：東京都だけでは無いですが、どうぞ皆様ご自愛下さいませね！

南葉 則男 成田新田

いつもお世話様です。今年の望郷みかわ会を楽しみにしております。(1940年生の若者より)

野口 高子(齋藤) 猪子

役員の皆様いつもご苦勞様です。コロナ禍の中で大変ですが、又皆様とお会いする日を楽しみにしております。

橋浦 ヒロ子(五十嵐) 猪子

今年こそはと思っておりましたが：残念ですが見合いません。来年は是非仲間達と一緒に参加したいと思います。宜しくお願い！

橋本 せき(長谷川) すみよし

夫 橋本七郎は令和四年四月に永眠致しました。(代筆)

茨田 かね子(近藤) 上町

次年度のご案内を頂ければと思いい、年会費も送金させて頂きます。茨田かね子自身は元気にしておりますが六年前にくも膜下出血を起こしており、動けませんが、体力維持のためウォーキングに行ったりして過ごしています。

尚、十月の総会には参加見合わせます。(娘代筆)

原田 しのぶ(佐藤) 土口

実家の姉が急に具合が悪くなり入院しました、八十三才です、時々帰らなければならぬので脱会さ

せていただきます。役員の皆様には大変お世話になりました、ありがとうございました。

藤原 千恵子 上町

会報三十七号を嬉しく受け取りました。役員の皆様はご苦勞なされた事と思います。三川町に帰った思いで読ませていただきました。今年の総会懇親会は是非、実現する事を祈っております。コロナの事も心配ですが、コロナに負けない生活をすることも有りかなあ〜と思っております。お会い出来る日を楽しみにしております。

本多 悟 横川

三川中学に統合になる前の最後の横山中学校卒業した私、令和五年二月で満八十歳になりましたが、一応現役のつもりで仕事しています。葬儀の為に六月と一月に帰郷しましたが、この時期の里帰りは何十年ぶりで久しぶりに観る緑一面の風景は秋の豊かな「実り」を想わせ、いつまでも続いて欲しいと願う古郷でした。コロナ感染の終息の見通しも立たない中、皆様どうぞご自愛下さい。

本間修

横山中

日本酒が好きなのでお酒の案内を楽しみにして居ります。

牧浦朝美(佐野)

猪子

役員の皆さんいつもご苦勞様です。「望郷みかわ会」開催で会員の方々との再会を楽しみにしてま

牧野律子(瀬尾)

加沼

コロナ感染も減少気味だった昨年十一月、母を誘い田田に二泊。いつも時間に追われる生活から解放され、心地良い庄内弁を聞きながら湯船に浸かり、ゆったりとした三川を満喫して来ました。

松本登喜雄(成田)

対馬

足の具合が思わしくなく、長く歩くのが自信無い為、申し訳ございませんが欠席させて頂きます。会の盛況を祈って居ります。

三浦光雄

助川

役員の皆様ご苦勞様です、この所、ずっとコロナウイルスで望郷みかわ会が中止でしたので、今年是非とも参加して、田舎の言葉で話をする機会を楽しみにしております。年々高齢化が進んで若い人達が少なくなり、会にも田舎から出て

会で働いている人達の参加がもつともっとほしいですね。

武藤敏子(鈴木)

成田新田

皆様にお会い出来る日を楽しみに、体力維持に頑張っています。

村上美津子(坂尾)

竹原田

体調不良の為に欠席させて頂きます。いつもありがとうございます御座います。

村瀬みさ子(佐藤)

押切中町

お世話になります、よろしくお願

村山辰夫(志藤)

横山中

いつもご苦勞様です。皆様とお会いしたいのですが、今回は欠席させて頂きます。「望郷みかわ会」のご発展をお祈り致します。

山本四郎

天神堂

雄大な鳥海山と公害のない庄内平野。風光明媚なふる里の「望郷みかわ」継続にご苦勞されている役員に深謀なる敬意を表したい。小さな夢に向かって故郷を出て六十年が過ぎてしまった。歴史の中に残すこともなく健康には恵まれつつ貧窮の毎日である。貧乏である為、かえって気楽な毎日。地域と旧勤務先の仕事は依頼されて奔走する毎日を

充実感で送っています。どうぞ宜しく願います。

若生昭吉

天神堂

三年ほど入院して居りましたが、九月二十八日に心不全で亡くなりました。大変お世話になりました。

ありがとうございます。乱文乱筆にて失礼します。

(家族代筆)

若生彦治

天神堂

今年の三川町は吹雪が多かったようだ。横浜は毎年三月、淡雪が5cm位積もるだけ。今年是用事があったも吹雪とコロナ騒動で行けなかった。残念だった。

昭和三十三年東郷中学校を卒業後、横浜市に在住し藤沢市辻堂に有る湘南モルビルで毎年2回開催される庄内産直便で買い物して

る。三川町の最近の自然・社会環境、交通の激変には驚いています。

渡辺京子(佐藤)

猪子

いつもお世話様です。今回の出席も見合わせたいと思います。宜しくお願致します。

渡部良雄

押切中町

会費の払込をコンビニで出来れば幸いです。...



株式会社イタガキ

安心をつくる。人を輝かせる。

代表取締役 板垣 昌之



三川本社工場 / 〒997-1315 山形県東田川郡三川町大字神花字前外川原476番地の1 (天神堂工業団地内)
東京本社 / 〒104-0031 東京都中央区京橋三丁目3番2号 小松ビル4F
仙台営業所 / 〒980-0014 宮城県仙台市青葉区本町二丁目17番3号 花泉ビル3F

Tel.0235-66-4711 Fax.0235-66-4715
Tel.03-6910-3048 Fax.03-6910-3047
Tel.022-217-3177 Fax.022-217-3178

第38回 望郷みかわ会 総会・懇親会

令和四年十月十五日に望郷みかわ会の第38回総会・懇親会を東京都港区芝の東京グランドホテルにて三年ぶりに開催致しました。

望郷みかわ会の大瀧会長はじめ会員の方々、三川町からは阿部誠町長はじめ八名の皆さん、首都圏からは石澤良弘山形県人東京連合会会長、庄内ふるさと会などの関係者十五名、計六十名程が出席されました。
その様子を紹介します。

阿部誠町長にご挨拶頂きました。



佐藤町議会議長のご発声で『乾杯!』のご唱和の後、歓談に移りました。



三川町から出席の皆さん



友好団体の皆さん



三川中統合前の卒業生の皆さん



三川中2回生・3回生の皆さん



三川中4回生〜10回生の皆さん





三川中7回生と14回生の皆さん



三川中9回生・27回生の皆さん



抽選会で町長賞ゲットのお二人



三川町役場、三川町観光協会の皆さんによる地元産品紹介

◎ 農 業 資 材
◎ 包 装 資 材
◎ 保冷ボックス・カバー

SANYO

三 株式会社 三 洋

代表取締役 石 田 伸

本社工場 〒997-1301 東田川郡三川町大字横山字大正27
TEL. 0235-66-3685 FAX. 0235-66-4188

山形営業所 〒990-0505 寒河江市白岩字湯尻783-1
TEL. 0237-87-3901 FAX. 0237-87-3905

東京営業所 〒101-0036 東京都千代田区神田北乗物町12
大竹ビル3階
TEL. 03-3526-2013 FAX. 03-3526-2152

平田工場 〒999-6711 酒田市飛鳥字大林717-8
TEL. 0234-52-3447 FAX. 0234-52-3681



地元産品販売コーナー

・水羊羹
・とちもち
・草もち
・菜の花もち
・いとこ煮
・おはぎ
・紅白もち
・赤飯

**元春子さんの
元気餅**

(有)大井餅や

山形県東田川郡三川町横山220 (〒997-1301)
TEL 0235-66-2050

祝
望郷みかわ会 第39回総会



三川町課長会

三川町芸術文化協会

三川町消防団



いろり火の里 心温まる ぬくもりのおもてなし

開放的な温泉でゆったり、リラックス 女の花温泉 TEL 66-4826	ゆったり落ち着いた雰囲気、天然温泉の宿 宿泊施設 女の花の宿 TEL 66-5300
婚礼、会議、各種催し物のマルチスペース 文化館 女の花ホール TEL 66-4863	道路情報、特産品販売、産直施設、ご休憩 道の駅「庄内みかわ」マイデル TEL 68-2500

株式会社 みかわ振興公社 <http://www.ironbinosato.info/> いろり火の里 検索
〒997-1301 山形県東田川郡三川町大字横山字堤 172-1 TEL 0235-66-4833 FAX 0235-66-4861

編集後記
表紙写真の上は土橋の赤川
土手沿いからの月山、下は横山
土手沿いからの菜の花と月山
です。
新しく会報担当すること
になりました。皆様からの投稿、
情報をお待ちしております。
いつでも結構です。(成澤修)

会員情報
■ 会員数 三三三名
■ (令和五年三月一日現在)
■ 計報

株式会社 東洋食品

おいしさの発明家



スモーク・焼く・煮るを得意とし、全国の高速道路SA・PA、JR駅構内、空港、スーパーで販売する商品およびふるさと納税の返礼品の製造を行っております。是非ご愛用下さい。

☎ 997-1321 山形県東田川郡三川町大字押切新田字前川原291
TEL(0235)66-3852(代) FAX(0235)66-3872
<http://toyoshokuhin-yamagata.com/>

三川町議会議員会

事務局 三川町議会事務局

電話 0235-35-7039

FAX 0235-66-3309

三川町農業委員協議会

事務局 三川町農業委員会事務局

電話 0235-35-7019

地域とともに歩む総合経済団体



出羽商工会三川支所

山形県東田川郡三川町大字横山字西田48-8

代表理事 熊田 洋勝 tel.0235-66-3795

三川町観光協会

～ふるさとのあたたかさで皆様をお待ちしております～

〒997-1301

山形県東田川郡三川町大字横山字西田85（三川町役場内）

電話・FAX 0235-66-4656 <https://mikawa-nanohana.net/>

